

授業計画書(シラバス)

教科名	キルンワーク I	曜日 時間	水曜日 9:10~15:50	担当教員名	松藤 孝一
-----	----------	----------	-------------------	-------	-------

	前期指導案		後期指導案	
	(年間 2回 授 業 日)	4月	17 24	10月
	5月	8 15 22 29	11月	6 13 20 27
	6月	5 12 26	12月	4 11 18
	7月	3 10 17	1月	15 22
	9月	11	2月	
方授 法業	(講義 ・ (実技))		(講義 ・ (実技))	
授 業 内 容	<p>素材としてのガラスを学びながら、キャストイング、パート・ド・ベール、フュージング、スランピングといったキルンワークの基礎技術を修得していくことになる。</p> <p>スケッチブックは、アイデアを整理そして発展させていく上で有効であり、その記録が担当教員とのコミュニケーションに役立つ道具として活用される。</p> <p>同様に制作データ(ガラスの配合や電気炉の温度スケジュールなど)をスケッチブックに記録させる。</p> <p>講評日は9/11になります。</p>		<p>キャストイングの応用として、ロスト・ワックスの技法を学び、新たな造形表現を習得する。また、引き型やプレス型などの技術を得ることにより、自分の求めるかたちを作品に取り入れられるようにする。後半では、前期に学んだ素材や技術をベースに、新たな表現の手法を探し求める。</p> <p>授業を通して、学生が、素材や技法、プロセスをトータルで考え始める機会にする。また、作品の最終展示まで責任を持たせて制作させる。</p> <p>講評日は1/22になります。</p>	
到達 目標	この授業では、キルンワークの基本的な技法を修得することと同時に、素材の特性に気付くことが目標である。		学生が、ガラスの表現として、素材、技術、またそのプロセスを総合的に考えること、また、作品の最終展示まで意識を持たせて制作させることが目標である。	
成績 基準 評価	成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／提出期限の厳守／授業の目標水準の到達／出席状況など。		成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／提出期限の厳守／課題の完成度／個人の成長度／出席状況など。	
留意 事項	学生にとって初めてのキルンワークの授業ということで、学生に対して分かりやすい指導を心がける。		2年次に問題なくキルンワークの制作が自分で行えるように、年間を通してキルンワークの基礎をしっかり身に付けさせる。	